

かたくりの湯 健康入浴のオススメ その九

銭湯・公衆浴場・温泉地で恥をかかないために...浴育のススメ。

伝えたい、日本人の文化

温泉施設を管理していると利用者の方からたまに言われるのです。

「お風呂のタイルが滑るので子供が滑って転んだ」「洗い場で後ろの人(横の人)のシャワーが当たる」「身体を洗わないで入浴する人がいて汚い」「湯船にタオルを入れる」「湯船で泳ぐ」

と、でもこれらのお話は40年程度前にはあまりなかった話だと思うのです。ちょうどその頃から高度経済成長が個人にまで浸透し、「家にお風呂がある事が普通」な世代になってしまった事がその背景にあると思われます。

各家庭にお風呂があると言う事は...それまで入浴の主流だった公衆浴場・銭湯の利用が減ったと言う事で、すなわち「他人とお風呂を共有する」機会が減ったと言う事になります。

それ以前の時代、公衆浴場や銭湯がお風呂の主流だった頃は、子供は小さいうちから「お風呂場では走らない、ふざけない(泳がない)」「自分にお湯を掛ける時はそっとかけて飛び跳ねないようにする」「背中にシャワーを掛ける時、頭を洗う時は手を伸ばして、自分の方だけにお湯が当たるようにする」「身体を洗ってから入る。かけ湯をしっかりとしてから入る」等を両親や祖父母、または近所の大人から教えられ成長していきました。

ですが、各家にお風呂ができ「個人で入浴する事」が普通になってしまった世代は、その公共的な入浴スタイルを知らない人も多いのです。そしてその人達が親になり、最初から知らない事は子供達に教える事も出できず...このままでは日本人が江戸時代の頃より培ってきた「入浴の文化」が死滅してしまいます。

温泉を利用している「親の親の世代」の皆さん。今こそ皆さんが学んできた「公衆浴場・銭湯の入浴文化」を後世に伝える最後のチャンスです。どうかお孫さんに、教えてあげてください。

素晴らしい「公共的な入浴」と言う文化を。

マナーアップでより良い入浴を

公衆浴場や温泉施設、温泉ホテルなどで恥をかかないために...以下の事は最低限のマナーです。

湯船に入る前は身体を洗う。またはかけ湯をする。

身体にお湯を掛ける時は勢いよく「ザバー」と被らない。

シャワーで身体の泡を流す時は、正面ならやや下向きに、背中なら自分の方を向けて、頭なら真下にシャワーヘッドを向ける。

洗い場やお風呂場では走らない、悪ふざけはしない。

湯船にタオルを入れない。湯船でタオルを洗わない。

サウナには身体を拭いてから入る。サウナの中では水を撒かない。サウナの中で小便をしない。

水風呂に入る時は事前に身体の汗を拭きとってから入る。タオルを水風呂の中で洗わない。

泥や塩を塗ったままお風呂に入らない、サウナにも入らない。

湯船の中でお酒を飲まない。お風呂の中では煙草を吸わない。もちろん食事もしない。

温泉保養センターかたくりの湯 温泉ソムリエ 川上